

平成26年度埼玉県・オハイオ州機械工学系奨学生レポート 12月

「クリスマス」

今年のおハイオのクリスマスは雪のないものでした。アメリカ人の友人も生まれてはじめて雪の無いクリスマスを経験したと驚いておりましたが、年が明けると急に冷え込みはじめ最低気温が-20℃の日も見られるようになりました。

クリスマス

アメリカのクリスマスは日本と違い、家族が全員集まって一緒に食事をします。そのためクリスマス期間中は、学生が皆帰省するためキャンパス内がとても閑散としており、大学内の食堂も閉まってしまいます。また、キャンパスに近いお店はどれも閉店してしまうため、クリスマス前に食料を買い込むよう色々な方から強く言われていました。しかし今年のクリスマスはアメリカ人の友人のご厚意で、彼の家に招待して頂きことができました。招待してくれた友人は Thanksgiving の際もお世話になった人で、フィンドレーから車で30分ほど南の Lima にある彼の実家にお邪魔しました。

クリスマスディナーは先月の Thanksgiving の時とほぼ同様のもので、Thanksgiving の際は七面鳥がメインでしたが、クリスマスではハムをメインで頂きました。基本的にはクリスマスも Thanksgiving も七面鳥を食べるようですが、近年七面鳥の代わりにハムを食べる家庭も多いそうです。

クリスマスには色々な習わしがあり、そのうちの一つにジンジャーブレッドハウス(ヘクセンハウス)があります。これはジンジャークッキーを使って作る家(平たく言ってしまうとお菓子の家)のことで、アイシングと呼ばれる砂糖とクッキーを使って家を作ります。ジンジャーブレッドハウスは各家庭でクリスマスに作られ、専用のキットが Walmart や Meier などの一般的なスーパーで購入できます。クリスマス中飾った後に皆で食べるそうです。友人の家では子どもたちに混じりながらジンジャーブレッドハウスを作らせてもらい、アメリカのクリスマスを体験させていただきました。



ジンジャーブレッドハウスを作る子どもたち